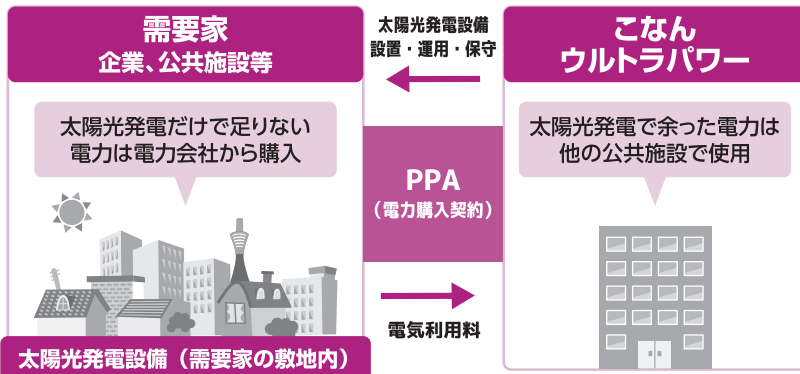


自然エネルギーで地域を元気に!

こなんウルトラパワーは湖南省と湖南省商工会、市内民間企業が中心となって平成28年5月に設立した地域に根差した電力会社です。



市内事業所の皆さんへ

こなんウルトラパワーでは、国が発表している「地域脱炭素ロードマップ」で重点対策として掲げている自家消費型太陽光発電設備の導入を促進すべく、PPA事業のご提案をしています。基本的に初期投資はゼロで、電気料金とCO₂排出の削減等が期待できます。ぜひ相談ください。



電話での問い合わせは

☎0800・800・5084

午前9時～午後6時(土曜・日曜日・祝日を除く)

<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

コナン市民共同発電所 6月の発電結果

初号機 発電量: **2,092kWh**
バンバン発電所 売電額: **92,048円**
設備容量 20.8kW

一般家庭 約7軒分

貳号機 発電量: **10,345kWh**
甲陸発電所 売電額: **455,180円**
設備容量 105.6kW

一般家庭 約34軒分

参号機 発電量: **1,581kWh**
十二坊温泉 売電額: **55,651円**
ゆらら発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約5軒分

四号機 発電量: **2,945kWh**
柑子袋まちづくり 売電額: **103,664円**
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約10軒分

※ 1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

10 人や国の不平等をなくそう



すすめ! みんなのSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

湖南省は持続可能な開発目標(SDGs)の達成をめざしています。

同和問題に対する正しい理解を

滋賀県では、9月を「同和問題啓発強調月間」としてしています。同和問題とは、日本社会の歴史的過程において形づくられた身分による差別によって、日本国民の一部の人々が現在も基本的人権を侵害されている問題です。

近年、湖南省でも差別発言の事案が起きています。同和地区はどのあたりにあるのか窓口にお問い合わせる、日常生活の中で差別に繋がるあだ名で呼ぶことなどは、深刻な人権問題です。こうした事案を減らしていくためには一人ひとりが差別について知らないままにするのではなく、正しい知識を学ぶことが大切です。

市では毎年、差別意識が解消されるよう市民をはじめ行政職員や企業へ正しい知識を学んでもらうため人権講座を開催しています。また、啓発月間や啓発週間では

市内の量販店などで啓発活動を行っています。

今もなお無くならない同和問題。インターネット上で部落差別を助長するような内容の書き込み、結婚差別、就職差別などその内容は深刻です。すべての人の人権が尊重される社会づくりのためには、私たち一人ひとりが自分の人権だけではなく他人の人権についても正しく理解し、一人ひとりの多様性を認め合うことが大切です。

この機会に身近なことから人権について考え、そして行動しましょう。

※ 9月4日(月)の午後4時から5時まで、イオンタウン湖南店、平和堂石部店、フレンドマート菩提寺店で街頭啓発を実施します。

同和人権擁護課〔東庁舎〕 ☎71・2322 ☎72・3788